



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが  
**住んでよかった**  
と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



## 642件のパブコメ 4ヶ所合体は「見直し」、廃園「延期」 市が一部方針変更 子ども・子育て会議「強引な進め方は問題」

市立幼稚園と保育所17ヶ所の内13ヶ所を廃園にする「子ども・子育て計画(案)」に対し、310人の市民が642項目のパブリックコメントを提出。3月14日開催の「第9回川西市子ども・子育て会議」で市が結果を報告し、検討されました。

**ひどすぎる計画破たん** 者の契約を不履行にするもパブコメを受け、市は北ので重大問題です。

幼稚園・中央・小戸・北保 委員から「パブコメは市民育所を、ひとつの認定ごとの声を聞くもの。なぜ意見募も園に集約する計画の「見集中に(合体の)予算が計上直し」を示しました。あまされていくのか」「幼稚園でりにひどい計画が破たんし3歳児保育や延長保育をした形です。

### 「松風」は時期をずらす

松風幼稚園の廃園時期 園・認定ごとも園化は知らさは、平成29年度末から「適れず、入所決定通知書と一緒切な時期を検討」へ変更する案が示されました。委員説明不足なことに驚いた「なからは、「廃園しないので、この意見が出されました。署名が8885筆も。時期このほか、委員から「強引をずらすだけでいいのか」な進め方は問題」「会議」の「関心をもっていただい意見がいかにされていない」で、ありがたい。ほとんど「子育てしやすい町にしてが不安・懸念・疑問・批判。ほしい」「市民の納得できるは正を求める声。廃園を『継続説明を』『魅力のある計画、続検討』の文言にできない不安を拭い去る具体的なビジョンを」「目玉の認定ご

ました。

### 緑保と牧の台幼、加茂幼・保は合体

緑保育所と牧の台幼稚園、加茂保育所と加茂幼稚園の統廃合計画はそのままです。

当該保育所で乳幼児が修了するまで保育を受ける権利を有するという市と保護

### 県政の歪み直し

#### 命くらし応援の県政を！！

- ☆高すぎる水道料金引き下げ
- ☆中学校卒業まで医療費無料化
- ☆小・中学校で30人学級実現
- ☆国保税・介護保険料引下げ
- ☆特別養護老人ホーム増設、介護サービス利用料引下げ
- ☆中小企業の予算増やし、住宅・店舗リフォーム助成制度創設
- ☆減災・防災、災害対策の強化
- ☆議員報酬20%削減、政務活動費領収書インターネット公開

党川西・猪名川県政対策委員長

吉岡けんじさんと一緒に



も園化に反対50以上、保育所・幼稚園の廃園反対に100以上の意見が出ている。『会議』として反省しなければならぬい...などの意見が相次ぎました。

### 「無理があった」会長反省

意見をつける」とまとめられました

これらの意見を真摯に受けとめてくださった会長が「公立園を認定ごとも園にすることの話し合いが十分できていない。保育内容に半数以上が疑問を感じていることは反省している。無理があった。」と発言。会長や委員から何度も「廃園や幼保一体化について、文言調整できないか」と市側に提案されました。

しかし、市側は、「廃園を検討しますとトーンを落とすことはできない」「若干の痛み、反対の意見があるうと『廃園』を繰り返しました。傍聴席からは失笑や大きなためいきが聞こえました。

私は、引き続き、子育て一番の町めざして精力的に取り組みます。

### 反省を含めて付帯決議

予定時刻より大きく超過。会長が「市は子育て会議の意見を聴かなければならない、となっている。計画の文言を慎重に、幼保のあり方委員会など持つべきだったとの付帯

「何も変わりませんよ」「国がやることだから良いことに決まっています」「決まったら説明します」「市が方針説明の際よく使う言葉だ」「子ども・子育て計画(案)」も

「子ども・子育て計画(案)」も

「何か」が変わるその「何か」を市民に説明しどんな影響があるか? その情報を提供する...それが自治体の責務

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

「もう決まったことですから」

### 黒豆の声

「何も変わりませんよ」「国がやることだから良いことに決まっています」「決まったら説明します」「市が方針説明の際よく使う言葉だ」「子ども・子育て計画(案)」も

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「何も変わりませんよ」

「今」なら間に合う!



日本共産党の志位和夫委員長が6日、神戸市内の演説会で行った演説のうち、兵庫県政、神戸市政について訴えた部分を中心に要旨を紹介いたします。

# 日本共産党の躍進で

# 住民の声で動く兵庫県政・神戸市政をつくらう

## 神戸での志位委員長の訴えから

志位委員長は「日本共産党の躍進は、国会を変えつつあります」として、増えた質問時間、党首討論の権利、議案提案権を生かし、「共産党を

伸ばしてよかった」と評価していただけのように大奮闘したいとのべたうえで、兵庫県政・神戸市政に話を移しました。

「福祉切り捨て」「大企業呼び込み」

いっせいで地方選挙は目前です。日本共産党は、兵庫県では、前半戦の県議選で現有5議席を絶対確保し、倍増の10議席以上をめざしています。神戸市議選は、現有9議席を絶対確保し、12人の全員当選をめざしています。後半戦では全員当選が目標です。

1999年のいっせいで地方選で、県議選で7議席から14議席に倍増させ、全国の大躍進の先頭に立って引っ張ったのが兵庫県でした。今回の選挙でも、兵庫、神戸市から全国の躍進を引っ張るような大躍進を



志位和夫委員長 6日、神戸市中央区

# 10議席以上で県政転換へ

一つは、「福祉切り捨て」というゆがみです。兵庫県政では、2008年度から「新行革」の掛け声で、県独自の三つの福祉医療制度がスタスタに壊されまし

勝ち取らせてほしい。(大きな拍手)  
兵庫、神戸市での日本共産党の躍進がどんなに大切か。県議会でも、神戸市議会でも、与党は自民、公明だけでなく、民主も維新も「みんな与党」で、知事・市長の提案に何でも賛成。県政にも市政にも深刻なゆがみがつくり出されています。

一つは、「福祉切り捨て」というのは、考え方の根本が間違っています。大企業をお金を出して誘致すれば経済が栄える。空港をつくり、港を掘れば、飛行機や船が増えて経済が栄える。しかし、大企業は補助金だけもらって勝手に撤退し、飛行機も船も待っても待っても増えませんが(笑い)。残ったのは借金だけ。この考え方を根本からあらためて、地元で根を張って頑張っている企業・産業を応援する政治に切り替えなければ

「三重県では、シャープ亀山工場の中国企業への売却に対して、6億4千万円の補助金を返還させているではないか」と県に返還を迫っている。そういうなかで、自民、公明、民主なども返還を言わざるを得なくなり、戻込みしていた県を動かして、ついに34億2千万円を返還させました。(大きな拍手)  
県民のみなさんが納めた大事な税金を取り戻し、新たな財源をつくるという仕事をやった。ですから県知事は、日本共産党県議団に「財源をつくってくれてありがとう」と感謝状のひとつも贈ったらどうかと思えます。(笑い、拍手)  
財界・大企業の横暴勢力を正面からたたき出すことのできる日本共産党議員団ならではの働きではないでしょうか。かけがえのない役割を果たしている日本共産党を、県議選でも、神戸市議選でも、そして後半戦でも躍進させていただき、住民の声が届く県政・市政をつくらうではありませんか。

た。所得制限の強化などによって、高齢者医療費助成の対象者は、17万5千人から2万1千人に減らされました。一人親家庭の医療費助成は10万人から5万9千人に減らされました。重度障害者医療費助成は4万人から3万6千人に減らされました。合計で19万9千人もの方々の医療費助成が切り捨てられました。

「大企業呼び込み」政治というのは、考え方の根本が間違っています。大企業をお金を出して誘致すれば経済が栄える。空港をつくり、港を掘れば、飛行機や船が増えて経済が栄える。しかし、大企業は補助金だけもらって勝手に撤退し、飛行機も船も待っても待っても増えませんが(笑い)。残ったのは借金だけ。この考え方を根本からあらためて、地元で根を張って頑張っている企業・産業を応援する政治に切り替えなければ

「三重県では、シャープ亀山工場の中国企業への売却に対して、6億4千万円の補助金を返還させているではないか」と県に返還を迫っている。そういうなかで、自民、公明、民主なども返還を言わざるを得なくなり、戻込みしていた県を動かして、ついに34億2千万円を返還させました。(大きな拍手)  
県民のみなさんが納めた大事な税金を取り戻し、新たな財源をつくるという仕事をやった。ですから県知事は、日本共産党県議団に「財源をつくってくれてありがとう」と感謝状のひとつも贈ったらどうかと思えます。(笑い、拍手)  
財界・大企業の横暴勢力を正面からたたき出すことのできる日本共産党議員団ならではの働きではないでしょうか。かけがえのない役割を果たしている日本共産党を、県議選でも、神戸市議選でも、そして後半戦でも躍進させていただき、住民の声が届く県政・市政をつくらうではありませんか。

いま一つは、「大企業呼び込み」というゆがみです。兵庫県には、全国でも突出した「上限なし」の大企業誘致補助金の制度があります。総額210億円が大企業に注がれました。神戸市も、「大企業を呼び込むため」と、神戸空港に続いて、国際戦略コンテナ港つくりで熱中してきました。ポर्टアイランドだけで3000億円も注ぎ込み、大水深バースを六つも掘りました。

「みんな与党」の体制のもとで、この二つのゆがみをただして、「住民の福祉の増進」という自治体本来の仕事にしっかり取り組む兵庫県政、神戸市政に切り替える。この仕事に取り組んでいるのは、日本共産党議員団だけです。

「三重県では、シャープ亀山工場の中国企業への売却に対して、6億4千万円の補助金を返還させているではないか」と県に返還を迫っている。そういうなかで、自民、公明、民主なども返還を言わざるを得なくなり、戻込みしていた県を動かして、ついに34億2千万円を返還させました。(大きな拍手)  
県民のみなさんが納めた大事な税金を取り戻し、新たな財源をつくるという仕事をやった。ですから県知事は、日本共産党県議団に「財源をつくってくれてありがとう」と感謝状のひとつも贈ったらどうかと思えます。(笑い、拍手)  
財界・大企業の横暴勢力を正面からたたき出すことのできる日本共産党議員団ならではの働きではないでしょうか。かけがえのない役割を果たしている日本共産党を、県議選でも、神戸市議選でも、そして後半戦でも躍進させていただき、住民の声が届く県政・市政をつくらうではありませんか。

未旗  
をお読みください  
お申し込みは黒田みちまで  
TEL&FAX 790-3055